

科目名	基礎演技 I							年度	2025
英語科目名	Basic Acting I							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 1 年次	必/選	必	時間数	105	単位数	3	種別※	実習+実技
担当教員	渡井れい、松橋頼良		教員の実務経験	有	実務経験の職種	俳優			
【科目の目的】 基本的な声の出し方として、呼吸法や発声法、肉体トレーニングを行い、役者としてのルーティンワークの重要性を理解しながらそれをどうやって演技に結びつけて行くかを意識しながら授業を進める。ベーシックな50音の発声や音階を使った発声等、様々な手法を使い、自分にとっての最適な方法を模索しながら、一俳優として一つの役柄、作品にどう取り組んで行くべきかを考察する。									
【科目の概要】 個々の資質を伸ばしながら、呼吸法・発声法・発音訓練、それに伴う身体訓練などを含む演技の基礎を学ぶ。									
【到達目標】 正しい呼吸法および発声方法を学び、大きく通る声を作る。発音基礎練習教材を個人・グループで共有し、自ら進んで練習ができる。与えられた課題台詞等をハッキリと正確に喋ることができるなど、舞台や映像といったジャンルを問わず演じることを学び、役者としての基礎を工夫して作りあげ、形式や固定観念に囚われず、個の素質を重要視し自分らしい役者になる礎を築くことを目標としている。									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーション・協働性を重視する。役者としての常識マナーを身につけるために原則として遅刻や欠席、見学は認めない。集中力を欠かさず、向上心と積極性を持って授業に参加することを求める。グループワークでの発表が多いので、協調性をもち、授業に参加できるようにコミュニケーションをとり、出された課題は各自クリアをするために日々研究を重ね、授業に臨むこと。授業時数4分の3以上出席が必須。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	腹式呼吸が完璧にできており、長い台詞・短い台詞を正しい発声法とプレスポイントを駆使することができる。	概ね腹式呼吸ができていて、息の量が少なくなった時に咽頭への力みが生じる発声をしている。	腹式呼吸を理論的に理解しているが、訓練不足により結果が出ていない。	腹式呼吸を理論的に理解できず、訓練方法の意図も理解できていない。	腹式呼吸やその訓練の重要性を理解せず、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 B	初見の課題において、母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を的確に区別し、台詞として表現することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を自力で区別することができ、実践することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができるが、自力で区別することができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができず、区別していることができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解しようとして、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 C	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品について語るができる。	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品のテーマを理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解しようとする意欲は見える。	戯曲を読解しようとする意欲がない。				
到達目標 D	自分の役割を理解し、自己都合を一切感じさせず他者の感情に訴えかける表現を行うことができる。	自分の役を理解し、他者の感情を考慮しながら“役としての”コミュニケーションを図ることができる	自分の役を理解し、他者の感情を考慮し用いているが“役としての”コミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解できず、他者と目を合わせてコミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解しようとして、他者とコミュニケーションを図ろうとしない。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
【教科書】 「ベーシックテキスト」その他、必要に応じてプリントを配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】 NHK日本語発音アクセント辞典									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		基礎演技 I			年度	2025
英語表記		Basic Acting I			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	基礎の重要性を理解し、個々の課題(テーマ)を見つける。	役者になるための基礎トレーニング	1 役者とは	声優は俳優の一部分であることを理解する	2	
			2 呼吸法(吸う)	腹式呼吸と胸式呼吸の違いを理解する		
			3 呼吸法(吐く)	息の流れを確認する		
2	腹式呼吸の仕組みを理解し、発音基礎練習(50音)をすべて覚え言えるようになる。		1 腹式呼吸	呼吸法を実践する		
			2 発音(レギュラー)	母音・子音の組み合わせを理解する		
			3 発音(50音)	日本語の音を一音一音発声する		
3	身体表現について理解する。		1 トレーニング	丹田を鍛える		
			2 腹式呼吸	呼吸法を実践する		
			3 発音(レギュラー)	母音・子音の組み合わせを理解する		
4	感情表現について理解する。		1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する		
			2 母音法	全ての言葉を母音だけで発音する		
			3 フレージング法	喜怒哀楽を意識的に表現する		
5	発音基礎練習をア〜ワ行までをすべて覚え、言えるようになる。		1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する		
			2 母音法	全ての言葉を母音だけで発音する		
			3 音圧と滑舌	喉にストレスのない声を意識的に表現する		
6	発音基礎練習をガ〜ビヤ行までをすべて覚え、言えるようになる。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 母音法	全ての言葉を母音だけで発音する			
		3 音圧と滑舌	喉にストレスのない声を意識的に表現する			
7	呼吸法を用いた発音基礎練習をすべてマスターし、自ら訓練することができる。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 母音法	全ての言葉を母音だけで発音する			
		3 音圧と滑舌	喉にストレスのない声を意識的に表現する			
8	課題台詞「外郎売」の一節を覚えて発表する。リップロール・タングトリルをマスターする。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 外郎売	内容を理解する			
		3 読解力	シチュエーションの目的を理解する			
9	課題台詞を用い心の動きを体感する。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 母音法	全ての言葉を母音だけで発音する			
		3 フレージング法	喜怒哀楽を意識的に表現する			
10	課題台詞を用いながら五感のエチュードで感性を磨く。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 母音法	全ての言葉を母音だけで発音する			
		3 フレージング法	喜怒哀楽を意識的に表現する			
11	「外郎売」の内容を理解し、テキストを見ずにすべてを言えるようになる。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 外郎売	内容を理解する			
		3 読解力	シチュエーションの目的を理解する			
12	全身を使って台詞をわかりやすく表現できるようにする。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 母音法	全ての言葉を母音だけで発音する			
		3 フレージング法	喜怒哀楽を意識的に表現する			
13	テンポを考え、メリハリのきいた「グループ(群)」としてのパフォーマンスを上げる。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 母音法	全ての言葉を母音だけで発音する			
		3 フレージング法	喜怒哀楽を意識的に表現する			
14	テンポを考え、メリハリのきいた「グループ(群)」としてのパフォーマンスを上げる。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 外郎売	内容を理解する			
		3 読解力	シチュエーションの目的を理解する			
15	発表課題「外郎売」をパフォーマンスとして人前で発表できる。	1 呼吸法	腹式呼吸・レギュラーを習得する			
		2 外郎売	内容を理解する			
		3 読解力	シチュエーションの目的を理解する			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等